

いざなみ

No.180
2016年11月

第38回 県立長崎図書館講座

講演「遠藤周作・長崎・キリスト教文学」を開催しました。



県立長崎図書館では、県民の皆様に本県の文化について学習していただけるように、年3回の図書館講座を開催しています。本年度の第2回講座は、10月2日（日）に、ノートルダム清心女子大学キリスト教文化研究所の山根道公教授を講師としてお招きし、「遠藤周作・長崎・キリスト教文学」と題した講演をしていただきました。

今年は、遠藤周作没後20年、『沈黙』刊行50年、スコセッティ監督の映画『沈黙』公開等、遠藤周作が注目される年となりました。そのような

話題に触れながら、長崎のキリストンの歴史と文化についてお話をいただきました。遠藤周作は長崎のことを「日本人である私とキリスト教という一つの大きな問題」を突き付けてくれる「自分の道場」と呼んでいました。その長崎との出会いから生まれたキリスト教文学の傑作『沈黙』、心の故郷となった長崎への恩返しに書いた二部作『女の一生』等について、遠藤周作学会事務局長も務める山根先生の言葉の豊富さに圧倒されつつも、解りやすく優しい口調で語りかける様子に、80分の時間はあつという間に過ぎました。



講師の山根道公教授

受講者からは、「山根教授の遠藤文学に対する心情がふつふつと語る言葉に感じられる。」「長崎の歴史の深さを改めて感じ、遠藤氏が『沈黙』にこめた思いが素晴らしいと思う。」「これほど深く、『沈黙』を中心に講義していただいた事は、私の中で宝となりました。」等の感想が寄せられ大変好評でした。

もくじ

◎ 第38回県立長崎図書館講座 P 1	◎ 文部科学省表彰団体の紹介 P 4
◎ 長崎ゆかりの文学展第2回・第3回企画展 P 2	◎ 催し物のご案内 P 4
◎ 公開講座 P 2	◎ 資料紹介 P 5
◎ 県内図書館散歩・2階ロビー展 P 3	◎ 県立長崎図書館アルバム P 6

長崎ゆかりの文学展

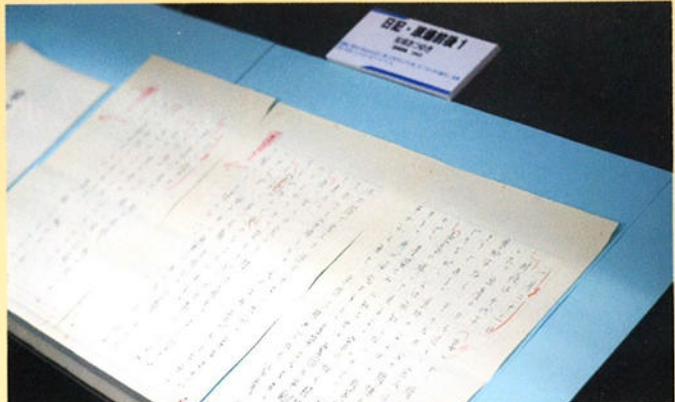
県立長崎図書館では、本県にゆかりのある作家や文学作品を中心に、「長崎ゆかりの文学展」として、年間4回の企画展と常設展を開催しています。

第2回企画展「原爆文学展」～好評のうちに終了～

今年度第2回企画展として、4階郷土資料展示室にて、7月12日（火）から9月4日（日）まで、「原爆文学展」を開催しました。

今回は県立長崎図書館が所蔵する原爆文学に関する生資料（直筆の原稿や、短冊など）52点を展示しました。

何度も手を入れた跡のある原稿や、独特の筆跡から、活字では聞こえてこない作者の心の声が聞こえてくるようでした。



第3回企画展「長崎の教会とキリスト教文学展」開催中



9月27日（火）から4階郷土資料展示室にて、「長崎の教会とキリスト教文学展」を開催中です。

今回の企画展では、キリスト教伝来から今日まで振り返り、それぞれの時代を表現した文学作品や資料を展示しています。

また、世界文化遺産への登録を目指す「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」にちなんだ作品や、今年没後20年の遠藤周作の作品も展示しています。会期は12月25日（日）までです。ご来館お待ちしています。

<放送大学・県立長崎図書館共催 公開講座を開催しました。>

8月27日（土）に放送大学長崎学習センターと共に開講座を開催しました。当日は、放送大学客員教授・長崎大学言語教育研究センター長の稻田俊明氏を講師にお迎えし、「日本語と英語の違いから探る英語の仕組み」と題してお話をいただきました。

英語の表現法が、日本語とは違うところに焦点を当てて意味を伝えたり、逆に日本語で表す意味をばかしたりするのは、両言語の仕組みの違いによるものです。両言語の関係節の仕組みや英語の表現法の特徴、アメリカ先住民のナヴァホ族の言語が太平洋戦争において暗号として使われたという歴史等をお話しいただきました。

日本語と英語を比べることで、分かりやすく英語の特徴を知ることのできる講演となりました。



シリーズ 県内図書館散歩 ⑳

新上五島町立図書館

12年前の市町村合併に伴い5つの町が1つになり、人口約2万人の町に5つの図書館があります。有川町立図書館が中央館の機能を持ち、中央図書館と改名されました。他に奈良尾図書館・若松分館・新魚目分館・上五島分館の計5館で新上五島町立図書館が構成されています。

中央図書館はこの秋で開館25年になります。開館当初は多くの子ども達の出入りが目立ったものの、今では少子化に加え、子どもの多忙さで大人の利用のほうが目立つようになりました。移動図書館車「ぐりぐら号」は新魚目・上五島・有川の3地区を巡回しています。

奈良尾図書館は奈良尾地区と若松地区をまとめる拠点として、移動図書館車「やまびこ号」を走らせ、小さな町のコミュニティとしての役割も果たしています。

若松分館は支所の2階に位置し、窓からのオーシャンビューはどの図書館にもない自慢の一つです。

新魚目分館は小学校の中に位置し、公共図書館と学校図書館の二足のわらじを履いた稀な図書館です。他の館とは違い利用者のほとんどが小学生です。

上五島分館は狭ながらも、生涯学習センターを兼ねている石油備蓄記念会館の中にあるので、各文化サークルの方々が気軽に立ち寄れる環境にあり、幅広い層の方々が利用しています。各館は少子化に伴う館内利用の減少を、出張おはなし会などで図書館の利用に繋がるよう努力しています。

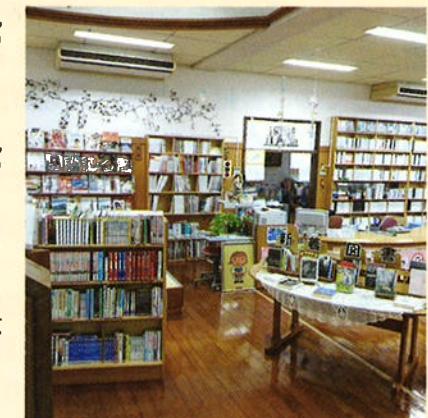
新町になり5つの図書館の足並みを揃えながら、開館当初志していた「いつでも・だれでも・どこでも」をモットーに、これからも町民に親しまれ暮らしに役立つ図書館をめざしていきたいと思っています。



中央図書館若松分館



中央図書館新魚目分館



奈良尾図書館



中央図書館上五島分館

2階ロビー展「熊本地震報道写真展」終了

10月25日（火）から11月27日（日）まで、2階ロビーにて、朝日新聞社よりお借りした熊本地震報道写真の展示を行いました。2016年4月14日と16日に熊本を襲った震度7の大地震…。被害を受けた熊本城や、呆然と佇む人々、救助に向かう自衛隊。ボランティア活動を通して人々が支え合う様子や、学校再開で喜ぶ生徒たち等、記者が伝え続けた震災報道写真によって、その惨状と復興を知ることができる展示となりました。

半年経った今でも、震災の傷痕は癒えません。私たちはもしもの時に備えて、災害時にはどの様なことをすれば良いか知っておく必要があります。本館は防災に関する本や、災害時のボランティア活動についての本等も所蔵していますので、ご活用ください。



文部科学省表彰団体の紹介(H28)

今年は、平戸市立永田記念図書館と、子どもの本ネットワーク協議会「五島っ子」が表彰されました。おめでとうございます。「五島っ子」の活動は、いしだたみ 178号でご紹介しています。

● 平戸市立永田記念図書館

平戸市立永田記念図書館は、平戸市出身の法学博士・弁護士で第5代日本大学総長の故・永田菊四郎氏の寄附により、昭和41年に設立されました。永田氏の「郷土の青少年育成のため、教育・文化の拠点としての役割を果たしてもらいたい」との思いから、児童図書に重点を置き、約4万冊の蔵書の半数近くを児童書が占めています。市内のもう一つの公立図書館である平戸市立平戸図書館との共通目標に、「まなびを支える図書館」「まちの情報センターとしての図書館」「地域の課題解決を支援する図書館」「すべての利用者にやさしい図書館」の4つを掲げ、市民に密着した、暮らしに役立つ図書館運営を目指しています。児童サービスでは、週1回の「おはなし会」や季節ごとの「あたのしみ会」で、図書館スタッフによる読み聞かせや、クイズ・ゲーム、朗読コンサートなどを行っています。また、保育園・学校などへの配本や「出張おはなし会」、市内各地で行われる乳児健診などで読み聞かせやブックスタートなども行っています。特に夏休みには、図書館の仕事体験や図書館員おすすめの本の展示、調べ学習の講座など、多くのイベントを開催し、子どもたちと本をつなぐお手伝いをしています。教育機関との連携強化も図っており、学校図書館担当教諭と公共図書館員との連絡会や研修会も定期的に行っています。図書館の近くには、保育園、小・中学校、高校があります。子どもたちが、小さいころから絵本に親しみ、読書の楽しさを知り、本で学ぶ喜びを実感し、成長していく姿を目の当たりにしてきたことは、当館の大きな財産でもあります。今後も、すべての利用者が本に親しむ読書環境を提供できるよう努力していきたいと思っています。



◆◆◆ 催し物のご案内 ◆◆◆

平成28年度「長崎ゆかりの文学展」

(第4回企画展)

「収蔵品展～長崎の詩人、歌人、俳人～」

期間：平成29年2月3日(金)～4月2日(日)

時間：9:30～17:00（ただし休館日を除く）

場所：県立長崎図書館 4階郷土資料展示室

第39回（平成28年度第3回）

県立長崎図書館講座

「長崎の俳句」

講師：野中 亮介 氏

（俳人・「花鶴（あたり）」主宰）

日時：平成29年2月12日(日) 13:30～15:30

場所：県立長崎図書館 2階 講堂

放送大学・県立長崎図書館共催 公開講座

「オリンピックの歴史 -オリンピアから東京へ-」

講師：管原 正志 氏

（放送大学客員教授・西九州大学健康福祉学部教授）

日時：平成29年2月18日(土) 13:30～15:30

場所：県立長崎図書館 2階 講堂

日本銀行長崎支店・県立長崎図書館共催講座

「私たちの暮らしと日本銀行」

講師：田中 司 氏

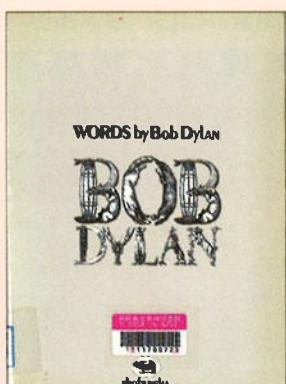
（日本銀行長崎支店総務課長）

日時：平成29年2月25日(土) 13:30～15:30

場所：県立長崎図書館 2階 講堂

資料紹介 《音楽の本》

本館では、17,000冊以上の音楽関係の資料を所蔵しています。音楽の歴史や、批評、音楽家の生涯に関する本、曲の解説、楽譜等がありますので、曲が作られた背景を知りたいとき、演奏してみたいとき等、お気軽にご利用ください。その中から今回は、いくつかの資料をとりあげて紹介します。この冬は、本を片手に音楽に親しんでみてはいかがでしょうか。



ボブ・ディラン全詩集

ボブ・ディラン／著
晶文社刊

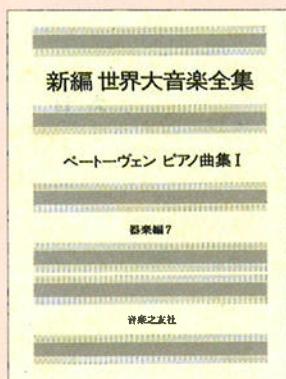
今年のノーベル文学賞を受賞した、ボブ・ディランの詩集です。



生きているジャズ史

油井正一／著
シンコー・ミュージック刊

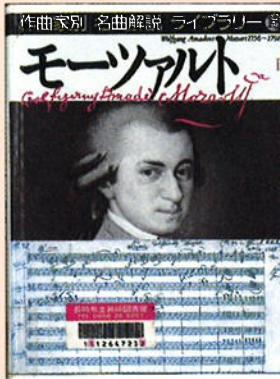
ジャズ創成期の時代背景や、有名アーティストのエピソードを紹介するジャズの歴史書です。



新編 世界大音楽全集

音楽之友社刊

全100巻の楽譜集です。器楽・声楽の有名曲が網羅されており、クラシック音楽をお探しの際にも役立ちます。



作曲家別名曲解説

ライブラリー
音楽之友社刊

有名作曲家の名曲解説全26巻です。豊富な譜例つきで、曲の解説や作曲家の生涯をることができます。



和太鼓入門

太鼓センター刊

和太鼓の入門書です。練習曲や打ち方の指南だけではなく、チーム作りや運営に関する知識やコツがまとめられています。



オペラ黒蜥蜴

江戸川乱歩／原作 青島広志／著
全音楽譜出版社刊

『黒蜥蜴』は江戸川乱歩の探偵小説で、三島由紀夫により戯曲化されています。舞台が有名ですが、青島広志作曲でオペラも上演されています。

■ 曲名から、掲載されている本を検索できるサイトを紹介します。

目次データベース（国立国会図書館リサーチ・ナビ）

<http://rnavi.ndl.go.jp/mokujii/>（楽譜以外の図書も調べることができます。）

■ 楽譜情報を調べるには、各出版社のサイトも利用できます。

楽譜ネット <http://www.gakufu.ne.jp/GakufuNet/>

音楽之友社 <http://www.ongakunotomo.co.jp/catalog/>

全 音 <http://shop.zen-on.co.jp/>



県立長崎図書館

アルバム

～1階玄関ロビー編～

写真とともに、県立長崎図書館を紹介します。今回は、図書館1階の写真です。新聞室、ロビーがメインのフロアです。

▲1階の新聞室には、長崎新聞をはじめ14紙が並びます。バックナンバーやその他の新聞は、3階の新聞コーナーに揃えています。

▶自動ドアから入ってすぐ左側には、『長崎県立長崎図書館復原模型』を展示しています。平成24年に当館が創立100周年を迎え、長崎工業高等学校の生徒に創立当時の模型を作製していただきました。9ヶ月かけた力作で、細部まで細かく作りこまれています。



▲エレベーター前のロビーです。官公庁等のチラシ配布やポスター掲示の場でもあり、イベント等をお知らせしています。また、館内で唯一飲食等にお使いいただけるスペースです。



▲階段踊り場では、テーマごとの展示を行っています。1・2階踊り場ではこども室の本を、2・3階踊り場では一般書を紹介しています。